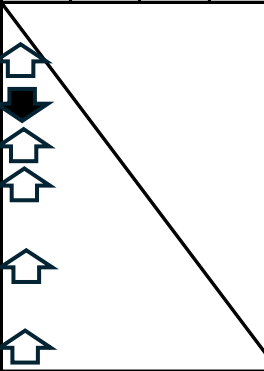
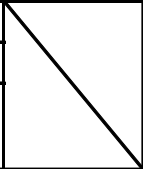
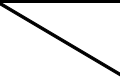


令和8年度 学校評価(児童・保護者アンケート・教職員自己評価)結果(7月実施)

番号	質 問 内 容	教員		保護者		児童	
		R7	今回	R7	今回	R7	今回
1	教：教育目標を理解し、その実現に向けて努力している。 保：学校の基本方針や活動内容を理解している。	3.1	3.2	3.3	3.2		
2	教：家庭・地域とともに高める学校づくりの実践ができている。 保：PTA活動や授業参観等に積極的に参加している。	3.1	↑ 3.3	3.5	↑ 3.7		
3	教：学級通信（校報等）で、学校の取り組みを積極的に発信した。 保：通信等で教育方針や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	3.3	3.4	3.2	3.3		
4	教：学力の定着向上に向けて、児童が主体的に学び合う授業の創造に努めた。	3.1	3.2				
5	教：つまずきや個人差への適切な指導をするなど、個に応じた指導ができた。 保：子どもは、授業が分かりやすく楽しいようだ。 児：学校の勉強は、楽しくて分かりやすい。	3.1	↑ 3.3	3.2	3.1	3.5	3.4
6	教：児童に家庭学習の習慣や主体的に学ぶ態度が育つよう配慮している。 保：子どもは、家庭で学習や読書する習慣が身に付いている。 児：家での勉強や読書を、よくしている。	3.1	↑ 3.3	3.0	↓ 2.8	3.3	3.3
7	教：児童の学びの状況を保護者に分かりやすく伝えている。	2.8	↑ 3.3				
8	教：地域の教育力を取り入れた教育活動を推進している。 保：子どもにとって、学校には楽しみなもの（行事等）があるようだ。 児：学校での活動や行事は楽しい。	2.9	↑ 3.3	3.5	↑ 3.7	3.8	3.7
9	教：児童は、場に応じたみんなに聞こえる声で発表している。 児：集会や行事の時、自分の意見を進んで発表している。	2.8	2.9			3.3	3.3
10	教：道徳的心情や道徳的实践力を高めることができた。 児：ルールや決まりをきちんと守っている。	3.1	3.0			3.6	↓ 3.4
11	教：家庭とのつながりを持って道徳の授業に努めている。	2.7	↑ 2.9				
12	教：学級・学校生活での児童の具体的問題を適切に取り上げた。 保：先生は、悩みや相談に適切に応じてくれる。 児：先生は、自分の話をよく聞いてくれる。	3.2	3.2	3.4	↓ 3.2	3.5	3.6
13	教：代表委員会で話し合ったことを十分に生かしている。	3.2	↓ 3.0				
14	教：差別をしない・負けない・許さない児童を育てられるよう、機会を捉えて指導に努めている。	3.1	↑ 3.5				
15	教：相互に認め合い、支え合う仲間づくりができた。 保：子どもは「明るく思いやりのある子」に育っている。 児：友だちと、仲良く遊んだり勉強したりしている。	3.2	↑ 3.5	3.4	3.5	3.7	3.7
16	教：いじめ・不登校、子どもの悩みの早期発見と早期対応ができている。 保：学校は、いじめ・不登校をなくすように取り組んでいる。	3.1	↑ 3.4	3.2	↓ 2.5		
17	教：あいさつ・会釈・場に応じた言葉遣いや声の大きさが定着するよう指導に努めた。 保：子どもは、よくあいさつをする。 児：進んで明るいあいさつをしている。	3.0	↑ 3.3	3.3	3.3		
18	教：校内及び通学路の安全点検を計画的に実施し、安全指導の徹底を図った。 保：学校は、子どもたちの安全や事故防止に配慮している。	3.3	3.4	3.4	3.3		
19	教：危機管理に心を配った指導（勤務）ができた。	3.2	↑ 3.5				
20	教：突然、災害が発生しても生命を守るための行動が、職員・児童ともにとれる。	3.1	↑ 3.3				

21	教：早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣を身に付ける指導に努めた。 保：子どもは、早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣が身に付いている。 児：早寝・早起き・朝ご飯がきちんとできている。	3.2	3.3	3.3	3.4	3.5	3.2 ↓
22	教：望ましい食習慣が身に付き、楽しい給食になっている。	3.1	3.2				
23	教：朝読書の時間を充実したものにした。	3.1	3.3				
24	教：目標としたページ数に到達できるよう、個々に応じた適切な働きかけができた。	3.0	2.7				
25	教：個に応じた適切な指導や必要な支援ができた。	3.0	3.5				
26	教：特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ、協力して支援ができた。	3.3	3.6				
27	教：公文書等が適切に収受され、活用できるように管理されている。	3.3	3.3				
28	教：諸届け、報告、承認は、その都度的確にできている。	3.3	3.5				
29	教：会計処理が適切になされている。	3.3	3.4				
30	教：勤務時間を意識した働き方ができている。	2.8	3.1				
31	保：子どもは「あかるく元気な子」に育っている。			3.5	3.5		
32	保：子どもは「たくましく最後までがんばる子」に育っている。			3.1	3.0		
33	保：子どもは、家庭でよく手伝いをしている。 児：家の手伝いをよくしている。			3.0	3.0	3.3	3.2
34	児：皆田（地域）が好き。						

【備考】

- ・ 同じ内容の質問又は関連のある質問は同じ行に掲載。（教：教員保：保護者 児：児童）
- 「R7」は、令和7年7月に行った結果である。
- ・ 数値は、「あてはまる」を4、「ややあてはまる」を3、「ややあてはまらない」を2、「あてはまらない」を1として、平均値を求めたものである。
- ・  0.2ポイント以上上昇。  0.2ポイント以上下降

【アンケート結果の分析】特に注目すべきポイントをまとめております。

1 向上した連携と活動

「PTA活動や授業参観等の参加（2番）」および「学校行事の楽しさ（8番）」の項目では、保護者の皆様と教職員双方の評価が共に上昇しており、学校と家庭が一体となって教育活動に取り組んでいる成果が表れています。

2 認識の乖離と今後の改善点

保護者の評価において「家庭学習の習慣（6番）」「悩みへの相談対応（12番）」「いじめ・不登校への対応（16番）」が前年度より低下しました。一方で、教職員側の自己評価では「家庭学習（6番）」と「いじめ・不登校対応（16番）」が上昇しており、学校側の認識と保護者の皆様が実感されている現状との間に乖離が見られます。今後は、学校の指導・取組が児童一人ひとりに確実に届いているかを今一度見直し、児童の目線に立ったより実態に即した対応を全教職員で徹底してまいります。

3 子どもたちの意識の変化

子どもたち自身の評価では、「きまりの遵守（10番）」や「早寝・早起き・朝ごはん（21番）」に関する回答が下がっています。基本的な生活習慣の定着については、ご家庭と連携しながら、改めて指導を充実させていく必要があります。今回の評価結果を真摯に受け止め、学校・家庭・地域がより強固に連携し、子どもたちの成長を支えていきたいと考えております。今後ともご協力をお願いいたします。

4 教職員の取組姿勢への評価

今年度は教職員のメンバーが入れ替わりましたが、全30項目のうち半分以上の17項目において、教職員の自己評価が前年度比で0.2ポイント以上上昇しました。新しい体制のもと、前向きな指導が定着しつつあります。

【自由記述のご意見】

- ・低学年だからとかでは無く友達との関わりで学べるようにして頂いてありがとうございます。
 - ・運動会では 改めて子供の成長を感じる事が出来ました。少ない児童数ではありますが一致団結して一人一人が頑張ってる姿に感動しました。
 - ・学校全体で子どものことを親身になって考えていただいている。
 - ・子供が小さな揉め事ではありますが、嫌だった事を話すとしっかり聞いて下さったり解決しようと話して下さったりそれを保護者にも話して下さるのが有難いなと思います。宿題が多いとぼやいていますが、親からするとこのぐらいしないと身につかないから丁度いいと思ってます。担任ではない先生方もしっかり名前と顔を覚えて下さっていて声をかけて下さるのが嬉しいようで、先生方はすごいなと思います。いつもありがとうございます。
 - ・運動会、管理職の方を含め、先生方のご尽力を細部に感じる催しでした。子どもは、いまだにマツケンサンバを自宅で踊り、下のきょうだいにも派生しています。（笑）学習面においては、我が子は、タブレット学習を上手く利用できていないように感じました。
 - ・困ったことがあったら、その都度、先生に相談するようにしています。先生も学校で困ったことがあったら、遠慮なくおっしゃってください。
- ▲いつも子どもたちのためにありがとうございます。参観日について、あれば参加したいとは思いますが回数が多いと感じます。先生方も準備等大変だと思いますので減らすことも考えてはどうかと思います。
- ▲大人の前と子どもたちだけの時で、態度を変えている子がいるようです。表向きだけで判断せず、しっかりと一人一人を見て子どもの評価をして欲しいです。
- ▲運動会は子供達も含めて慌ただしくしていたように見えた。

【自由記述の考察】

1 皆様より高く評価いただいた点

本校の教育活動に対し、多くの温かいお言葉をいただきました。特に、教職員が児童一人ひとりの名前や顔を覚え、日常的に丁寧な声かけを行っている点や、些細な揉め事や相談に対しても、保護者の皆様と密に連携し、解決に向けて誠実に対応している点について、多くの信頼をお寄せいただいております。また、運動会においては、少人数の皆田小学校だからこそ可能な一致団結した姿や、児童の確かな成長を実感できたとの喜びのお声を多数いただき職員一同、大変励みとなっております。

2 改善を求める声と今後の課題

一方で、より良い教育環境の実現に向けて、率直なご提言もいただきました。

参観日の実施回数や行事当日の進行につきましては、ご負担感や、よりゆとりのある行事運営を求めご意見を頂戴しております。また、学習面において、タブレット端末の活用状況が十分ではないという懸念や、児童の対人関係において「大人の前と友達同士での態度に差がある」といった、表面的な行動だけにとどまらない深い児童理解を求めるご意見もいただいております。これらはいずれも、子どもたちの成長を願う大切な視点であると重く受け止めております。

【具体的な取組（改善点）】

1 行事实施計画の最適化

参観日等の行事につきましては、保護者の皆様の負担と学校の準備状況を考慮し、実施回数や内容の精選（簡素化・統合）を検討いたします。

運動会等の行事当日は、時間配分や進行を再考し、児童と保護者の皆様がゆとりを持って参加・観覧できるよう改善を図ります。

2 ICT教育スキルの向上と指導改善

タブレット端末を学習ツールとしてより効果的に活用できるよう、習熟度に応じた指導体制を整え、家庭学習との連携も強化いたします。

3 児童理解と指導体制の深化

児童が安心して学校生活を送れるよう、担任のみならず全教職員で見守り、指導の質を統一いたします。「大人の前と友達同士での様子」など、児童の多面的な姿を冷静かつ客観的に把握し、一人ひとりに寄り添った指導・支援を徹底いたします。

4 学校と家庭の対話深化

些細なことでも気軽にご相談いただける関係性を維持し、問題の解決に向けて迅速かつ丁寧な情報共有と連携を行ってまいります。